

## 2年次「国際交流デー」報告

3月23日（水）、本校の国際交流デーとしてドイツに留学している大学生の林さんとオンライン交流、またミャンマー人モモさんによる講演会を実施しました。

林さんからはなぜ留学したのかとその経緯、また実際の留學生活について話していただきました。生徒からもその場で多数の質問があり、時差8時間を感じない交流の機会となりました。

林さんの講演に対する生徒感想文には「どんなに大変なことでもあきらめずに挑戦することが大切だとわかりました」「留学や海外に興味を持ちました」「勇気をもらえました」「英語をもっと勉強しようと思いました」などの声があがっていました。

ミャンマー人モモさんからはミャンマーという国のこと、昨年起こったクーデターから現在までをお話していただきました。ロシアとウクライナだけでなく、ミャンマーにももっと関心を持って一緒に考えてほしいという想いのこもった講演になりました。

モモさんの講演に対する生徒感想文には「ミャンマーについて何も知らなかったので勉強になりました」「普段知らないことを知り、もっといろいろ調べたいと思いました」「内戦が早く解決され、ミャンマーが平和になってほしいです」「他国のことでも放ってはおけない問題だと思った」などがありました。

本来であれば、外国人留学生30人が来校し交流する予定でした。コロナが理由で代替えの内容とはなりましたが、生徒にとって学びと気づきの時間となったようです。次の行動の一步のきっかけとなることを期待したいです。

